

事業所名		こども療育スポット キャンパス（児童発達支援）		支 援 プ ロ グ ラ ム		作成日		令和 7 年		3 月		1 日	
法人（事業所）理念		誰もが自己実現をなせる地域社会の実現											
支援方針		・あるがままに受け容れられ認められることで、子どもたちが安心して過ごせ、自己表現できる第3の居場所づくりを行う ・丁寧な関わりや丁寧な支援を通して、子どもたちが身の回りのことや生活を丁寧に言う態度を培い、自分を大切に、自分を高めていく心を育む ・することはわかりやすく丁寧に伝え、本人のペースを大切にする。無理強いせず、今できることやしようとしていることをまず認め、できたことはしっかり褒める心に寄り添った支援を行う											
営業時間		1 0 時 0 0 分から 1 7 時 3 0 分まで				送迎実施の有無		あり		なし			
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・登所時の視診・検温、都度の健康確認（顔色や表情、体調の変化に常に注意を払う） ・基本的な生活や衛生面の習慣付け、身の回りのことの支援（食事、排泄、衣服の着脱、身辺処理など） ・間仕切りを設置して活動場所を分けたわかりやすい空間、視覚的な刺激を減らすような物の配置、スケジュールの視覚化等の構造化											
	運動・感覚	・粗大運動（体操、リトミック、おしり歩き、ボール遊び、サーキット遊びなど） ・微細運動（手遊び歌、粘土、お絵描き・塗り絵、季節のテーマの製作など） ・感覚遊び（バランス運動、新聞遊び、氷遊びなど）											
	認知・行動	・1日の予定をわかりやすく示し安定したリズムを作る。身支度やトイレ、片付けなどを同じ流れや手順で繰り返し行うことで、することの理解や定着を図る ・好ましい行動にアプローチし、場面に応じた行動を増やす支援 ・遊びややり取り、小集団活動を通して、状況や相手の様子に意識を向けたり、自分の感情や行動を調整する力を育む支援											
	言語コミュニケーション	・本人の表出（ノンバーバルコミュニケーションを含む）を丁寧に受け止め、言葉にして応答することで言語によるコミュニケーションを育む関わり ・挨拶、読み聞かせ、絵カード、お絵描き、ごっこ遊びなどのやりとりを通じて語彙力を育む支援（端的なはっきりした言い方で伝える） ・他児とのやり取りに必要な応じて介入し、考えや思いを言葉にして伝える力を養う支援											
	人間関係社会性	・小集団生活で安心して過ごし、他児や職員に興味を持てるような関わり ・他児や職員といろいろな場面（始めの会や帰りの会、小集団活動、ごっこ遊びなど）を共有し、関わることの楽しさを感じられるようにし、社会的スキルの習得を促す ・他児との関わりは必要に応じて介入し、相手の様子や状況を伝え、相手の気持ちをわかろうとする力や他者視点を育み、良い関わりができるようにする											
家族支援		・連絡帳（その日の活動内容や様子のお知らせ） ・半年に1回の見学と面談（支援の定期的な確認や見直し、子どもに対する支援場面を通じた相談援助）				移行支援		・集団生活に必要な社会性等の向上を目指した支援目標の設定 ・必要な利用日数の調整等を行うための保護者や関係機関との連携 ・地域の小学校への就学に備えた関係機関との連携や相談援助					
地域支援・地域連携		・サービス担当者会議等による地域や関係機関との連携 ・防府市地域総合支援協議会や防府市子ども発達支援部会への必要時の参加				職員の質の向上		・所内研修、外部研修の受講 ・支援の振り返りと改善（レポート提出） ・ヒヤリハット事例の記録、共有による意識向上					
主な行事等		・季節の行事を取り入れた活動…夏祭り（小学生以上の他児と合同）や豆まき（自分たちで新聞紙で豆を作って撒く）など											